

ご自由にお取りください
TAKE FREE

梯子きざし

特集

ゲノム医療



那覇市立病院に、
専門の相談窓口ができました

ゲノム医療とは？

遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)が
疑われたら？

出生前遺伝的検査を受けたいな…

がん遺伝子パネル検査 がんゲノムプロファイリング検査
とは？



- がん拠点病院
- 部署紹介
- 小児救急
- イベント報告
- 登録医紹介
- 利用者送迎者敷地周辺シャトル運行のご案内

ゲノム医療をもっと身近に ～寄り添い、伝え、支える～

那覇市立病院に、専門の相談窓口ができました。

沖縄県南部医療圏における遺伝診療の充実を目指し、遺伝に関するご相談や、生まれ持った体質・疾患への専門の相談窓口を設けました。

各医療機関の遺伝診療部門と連携しながら、ゲノム医療を提供しています。

ゲノム医療とは？

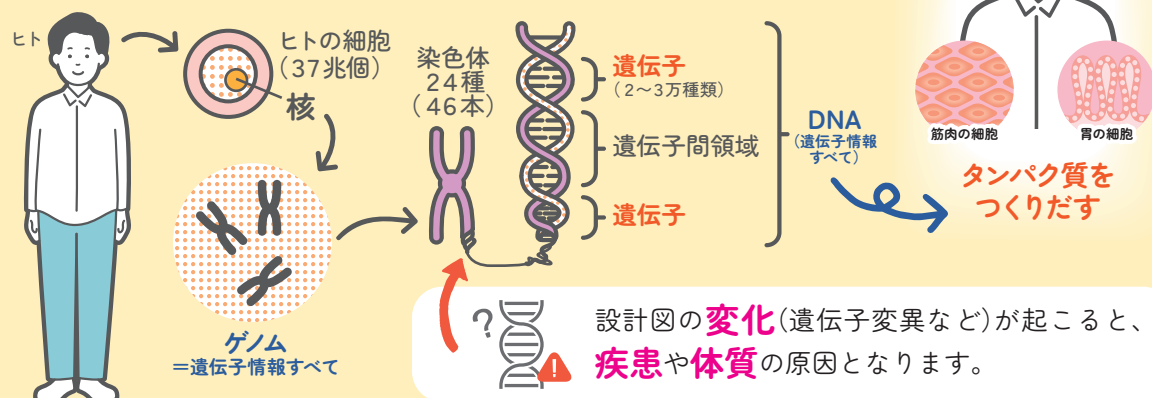
「うちはがん家系なのかな？自分も心配だな」「高年妊娠で、赤ちゃんのことが心配だな」と、不安や悩みを抱えたとき、どこに相談したらよいか迷うことがあるかもしれません。

遺伝や生まれ持った疾患・体質について不安や悩みがあるときは、各医療機関の遺伝診療部門が対応し、ゲノム医療を提供します。ゲノム医療とは、患者さんのゲノム情報（遺伝情報）をもとに、その人の体質や疾患に適した診断や治療を行う医療です。



ゲノム：体を作る設計図

ゲノムとは、DNAに含まれる**遺伝情報すべて**のことで、一人ひとり異なります。ゲノムの中には**遺伝子**があり、体をつくるための**タンパク質**を作る働きを担っています。そのため、ゲノムや遺伝子はヒトの体をつくる**設計図**と表現され、この設計図に**変化**が起こると、さまざまな**疾患**や**体質**の原因となります。



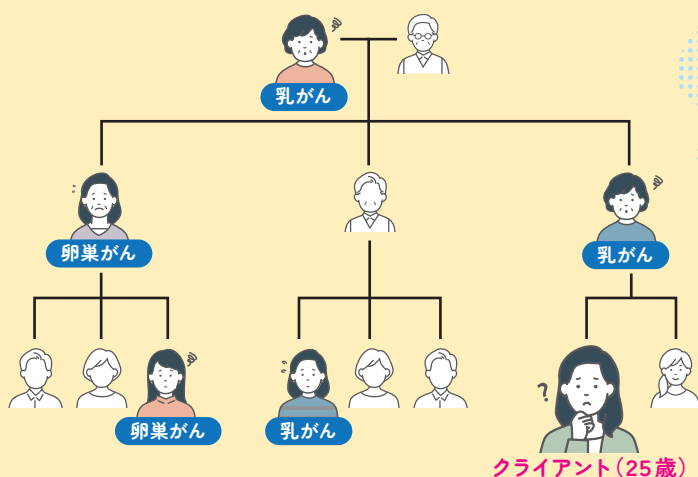
遺伝カウンセリングとは？

遺伝カウンセリングは、ゲノムや遺伝子の変化による疾患や体質について、患者さんやご家族が不安や悩みを相談できる場です。相談はどなたでも可能で、相談される方を「**クライアント**」と呼びます。カウンセリングはゲノム診療科の臨床遺伝専門医が担当し、約60分かけてわかりやすく説明し、不安や悩みに寄り添いながら、一人ひとりが納得して意思決定できるようお手伝いします。基本は自費診療ですが、一部は保険診療の対象となる遺伝カウンセリングや遺伝学的検査もあります。

主な相談内容

- 1 遺伝性疾患・先天異常症の相談・診断
- 2 出生前診断
(NIPT非侵襲的出生前遺伝学的検査など)
- 3 高年妊娠や次子の遺伝についての相談
- 4 遺伝性腫瘍の相談・診断
- 5 がんゲノム医療
(がん遺伝子パネル検査など)

遺伝性乳がん卵巣がん **HBOC** が疑われたら？



自分も乳がん・卵巣がんにならないか心配

妊娠や出産はできるかな？

自分の子どもにも遺伝するかな？

いつ遺伝子検査を受けたほうがいいかな？

結果が陽性なら妹にも伝えた方がいいかな？

遺伝カウンセリング室で対応することが多い疾患の一つに、遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)があります。**BRCA1**または**BRCA2**遺伝子に、がんになりやすい体質(病的バリエーション)が生まれつきあることが確認された場合、HBOCと診断されます。血液検査で**BRCA**遺伝学的検査を行い、条件を満たす場合は保険適用となります。

HBOCは、若い年代で乳がんや卵巣がんを発症するリスクが高く、家系内に乳がん、卵巣がん、膵がん、前立腺がん、男性乳がんの方がいることがあります。**BRCA**病的バリエーションは一般の約400人に1人が持つとされ、親が病的バリエーションを持つ場合、子どもには性別に関係なく2分の1(50%)の確率で受け継がれます。

HBOCと診断されると、治療薬や手術方法の選択に役立つほか、条件を満たせば保険適用で未発症のがんに対するリスク低減手術を受けられる場合があります。一方で、

血縁者にも同じ体質が受け継がれている可能性がわかるため、不安や悩みにつながることもあります。しかし、将来のがんの早期発見や予防につながる大切な情報にもなるため、遺伝カウンセリングで十分に相談しながら進めていきます。

遺伝カウンセリングでは、遺伝学的検査のメリット・デメリットを整理し、検査を受けるかどうかを一緒に考えます。血縁者へ伝えるかどうかなども含め、必要に応じて複数回にわたり相談を行います。

当院では、HBOCに関する遺伝カウンセリング、遺伝学的検査、リスク低減手術、サーベイランス(がん予防)、血縁者の遺伝カウンセリング・遺伝学的検査に対応しています。HBOC以外の遺伝性腫瘍についても相談できますので、「うちはがん家系なのかな?」「自分も心配だな」と感じる方は、ぜひご相談ください。

用語解説

- 遺伝性腫瘍: 生まれながらに特定のがんになりやすい体質を持っている。
- HBOC: 遺伝的な体質により、乳がんや卵巣がんなどになりやすくなる病気です。
- **BRCA1・BRCA2**: がんを防ぐ働きに関わる遺伝子です。
- 病的バリエーション: 病気の原因となる遺伝子の変化のことです。
- サーベイランス: 病気を早く見つけるために定期的に検査を行うことです。

家系図を確認しながら、遺伝カウンセリングで不安や心配を確認し、相談していきます



出生前遺伝学的検査を受けたいな...

妊娠がわかると、「どんな赤ちゃんが生まれてくるかな?」「元気に育っているかな」と楽しみにされる一方、「おなかの赤ちゃんが病気をもっていないか心配だな。」と不安に感じることもあると思います。

当院では、「周産期遺伝カウンセリング外来」で、このような不安や悩みについて相談することができます。

出生前検査は、妊娠中に赤ちゃん(胎児)の病気について調べる検査です。検査方法には、「羊水検査」や「NIPT(非侵襲的出生前遺伝学的検査)」があり、当院で2026年4月から「NIPT」が実施できるようになりました。

●出生前検査の比較

	NIPT (非侵襲的出生前 遺伝学的検査)	羊水検査
検 査	非確定検査	確定検査
検 査 方 法	お母さんの血液を 採取 して行う	おなかの中の羊水を調べ、赤ちゃんの病気を詳しく確認する検査 腹部に穿刺
実 施 時 期	10～22週 (当院では10～13週)	16～18週
対 象 疾 患	ダウン症候群 21/18/13トリソミー	染色体疾患全般
感 度 (ダウン症候群に関して)	99.1%	100%

那覇市立病院におけるNIPT受診の流れ

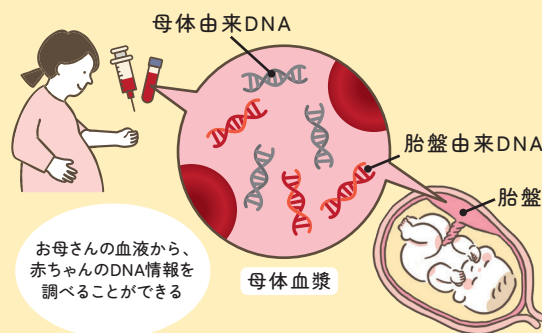


NIPT検査とは

妊娠10週以降の
妊婦さんから
血液を採取

血液中に浮遊している
cfDNA※を分析して、
赤ちゃんの染色体数に
異常がないかを調べます。

※染色体が細かく分解されたもの



当院のNIPTでは、21トリソミー(ダウン症候群)、18トリソミー(エドワーズ症候群)、13トリソミー(パトウ症候群)を対象としております。

NIPTで陽性となった場合は、羊水検査による確定診断を行い、その結果をもとに今後の妊娠についてご夫婦で相談していきます。

当院のNIPTはすべて自費診療です。遺伝カウンセリングは大切な相談となるため、妊婦さんとパートナーの方に一緒に受けていただいています。

NIPTを希望される方だけでなく、受けるかどうか迷っている方も相談できます。検査を受けるかどうかは、ご夫婦の自由な意思で決定していただけます。

がん遺伝子パネル検査 がんゲノムプロファイリング検査 とは？

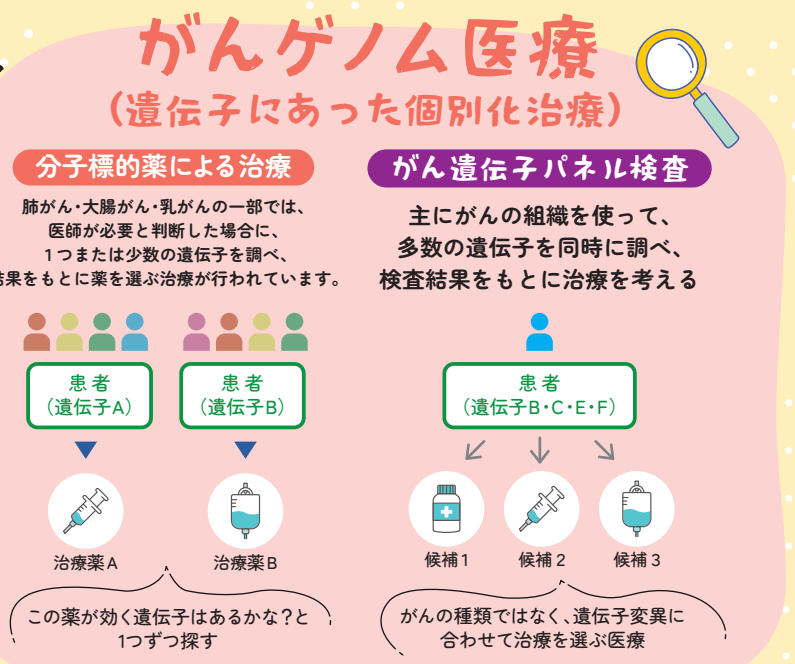
近年「**がんゲノム医療**」が注目されています。これまでの標準治療は、抗がん剤についても臓器別によって選択されてきました。がんゲノム医療とは、遺伝(ゲノム)情報に基づくがんの個別化治療の一つです。がん遺伝子パネル検査では、主にがんの組織を用いて多数の遺伝子を同時に調べ、遺伝子の変化を明らかにします。その結果をもとに、効果が期待できる治療薬がある場合は、保険診療や臨床試験などによる治療につなげます。日本では2019年6月から保険診療で実施できるようになりました。

使用できる薬が提案される割合は約10%と報告されていますが、「**使える治療薬がないと言われた**」、「**自分**

の体質に合った治療を検討したい」という患者さんにとって、新たな治療の可能性につながることがあります。

一方で、検査の対象は「**標準治療が終了した**」、「**標準治療がない**」などの条件を満たす患者さんに限られます。また、結果が出るまで約2か月かかるため、検査を受けるタイミングについては早めに主治医へ相談することが大切です。

検査では、偶然「**遺伝性腫瘍**」に関する遺伝子変異が見つかることがあります。その場合は、遺伝カウンセリングで確定診断やご家族への影響などについて相談していきます。



ゲノム診療科

科長 仲村 理恵 プロフィール

- 職歴** 琉球大学病院 産科婦人科
- 専門分野** 産婦人科遺伝診療、遺伝性腫瘍、生殖内分泌
- 認定・資格** 医学博士
臨床遺伝専門医
生殖医療専門医
日本産科婦人科学会 産婦人科専門医・指導医
母体保護法指定医
日本がん治療認定機構 がん治療認定医
認定がん・生殖医療ナビゲーター



外来予約や費用については、当院ホームページに掲載しております。詳しくはQRからご覧ください。

外来・検査のご案内

遺伝カウンセリングや各種検査をご希望の際は、現在通院中の医療機関から当院の地域医療連携室を通してご予約ください。また当院通院中の方は主治医にご相談ください。

月	遺伝カウンセリング外来
火	周産期遺伝カウンセリング外来(NIPT)
水	遺伝カウンセリング外来
木	周産期遺伝カウンセリング外来(NIPT)

地方独立行政法人 那覇市立病院
地域医療連携室

直通 TEL.098-884-5134
FAX.098-886-5502

地域がん診療連携拠点病院

確かな医療と、温かなサポートを。
地域のがん診療の架け橋に。



地域がん診療連携拠点病院とは

那覇市立病院は、沖縄県南部医療圏のがん医療を担う「がん診療連携拠点病院」です。がん診療連携拠点病院は、地域で専門的ながん医療を提供するために国(厚生労働大臣)が指定する病院です。大きな特徴は、がん医療に関わる「専門チーム」があることです。医師だけでなく、看護師や薬剤師、ソーシャルワーカーなど多職種が連携し、手術や放射線治療、薬物療法などを患者さん一人ひとりの状態に合わせて提供しています。

また、高度な医療機器を備えるとともに、がんと診断された時からの心のケアや、仕事・生活に関する相談に対応する「がん相談支援センター」が設置されています。

さらに、地域の病院やクリニックと連携し、患者さんの状態に応じた医療につなげる役割も担っています。住み慣れた地域で安心して治療を続けられるよう、地域全体で支える体制づくりを進めています。

詳細は、当院ホームページにて
ご確認いただけます。



那覇市立病院のがん診療体制

手術

根治性を最優先に担保した上で、体への負担を抑え傷口の小さな鏡視下手術を標準とし、令和6年度よりさらに繊細な操作が可能となる手術支援ロボット「ダヴィンチ」による前立腺、腎、大腸、肝、膵、肺などの手術を行っています。高度進行例では、薬物・放射線療法を併用した集学的治療にて根治を目指しています。



詳細は、当院ホームページにてご確認
いただけます。



薬物療法

がんの種類や進行状況に応じて、抗がん薬や分子標的薬、免疫療法などを用いた治療を行っており、必要に応じて手術や放射線治療と組み合わせることもあります。また、遺伝子カウンセリングや副作用を和らげる支持療法にも取り組み、患者さんが自分らしい生活を大切にしながら治療を継続できるよう支援しています。



放射線治療

高精度放射線治療装置「TrueBeam EDGE」を新規導入し、2台体制で放射線治療を行っています。沖縄県初導入のこの装置は、肺がん・肝がん・転移性脳腫瘍などに対し、放射線をピンポイントで照射する定位放射線治療を得意としています。また、乳がんの術後照射や痛みを和らげるための緩和照射をはじめ、さまざまながんに対する高精度な放射線治療にも対応しています。最新の画像技術により治療位置をリアルタイムで確認しながら照射を行うことで、患者さ



Halcyon



TrueBeam EDGE

んの身体的負担の軽減に努めています。「Halcyon」は、前立腺がんや食道がん、直腸がんなどに対し、副作用を抑えた高精度な放射線治療を提供しています。患者さん一人ひとりの状態に合わせた治療計画のもと、安全で質の高い放射線治療に努めています。

専門資格を有する職員紹介

サポーターズ(緩和)ケアチーム

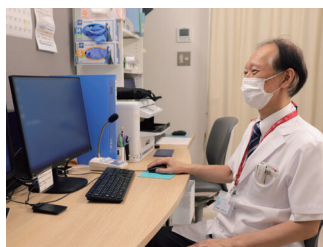
入院中の患者さんの「からだ」や「こころ」のつらさを軽減するため、専門知識を持つ医師や看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、公認心理師、栄養士、理学療法士、作業療法士が協力して活動しています。がんに限らず、全ての病気によるつらさに対応しており、患者さんご本人はもちろんご家族も含めたきめ細やかなケアを提供しています。ひとりで抱え込まずに、主治医や看護師などへお気軽にご相談ください。



専門外来

緩和ケア外来

がん患者さんが経験しているつらい症状に対して、専門の医師が、主治医や他の専門スタッフと協力して相談に応じます。



診療日 毎週火曜日 午前(要予約)
(受診の際は紹介状が必要となります)

他の医療機関より受診を希望される場合は、地域医療連携室を通してご予約ください。

リンパ浮腫外来

リンパ浮腫外来は、手術や放射線療法を受けた患者様で、治療後に手や足等にむくみが出た場合、リンパドレナージ・圧迫療法・スキンケア・セルフケア指導などを行っています。



診療日 毎週木曜日(完全予約制、自費診療)
担当 リンパ浮腫セラピスト

がん看護外来

がんと診断されると、治療だけでなく仕事や家庭、将来への不安などさまざまな悩みが生じます。がん看護外来では、専門の看護師が患者さんやご家族のお話を伺い、一人ひとりに合った療養生活や意思決定を支援します。お気軽にご相談ください。



診療日 月～金曜日 9:00～12:00/13:00～17:00
(予約制・各1時間)

対象 当院に通院中のがん患者様・ご家族

ストーマ外来

ストーマ(人工肛門・人工膀胱)造設術を受けた患者さんに対して継続的な支援を行うためにストーマ外来を開設しています。支援としてはストーマ周囲の皮膚障害や日常生活における管理・ケア内容で困っていることに対し、問題解決できるよう取り組んでいます。



診療日 毎週水曜日(完全予約制)
担当 皮膚・排泄ケア認定看護師

部署紹介

がん相談支援センター

がんについて、
一人で悩んで
いませんか？

がん相談支援センターは、がんについて誰でも無料・匿名で相談出来る窓口です。
当院に通院中の方はもちろん、地域の方などどなたでもご利用いただけます。

がん相談支援センターは、「**がん診療連携拠点病院**」に設置されている、がんの相談窓口です。がんについて詳しい看護師や、生活全般の相談が出来る社会福祉士などの相談員が、治療の不安や疑問、生活上の困りごとをお聴きし、一緒に考えサポートします。相談内容に応じて医師、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフなどの多職種と連携し、一丸となって皆さまを支援しています。ひとりで抱え込まず、どうぞお気軽にお声がけください。

例えば **こんなときはご相談ください**

治療や生活に関する不安、心がもやもやするとき

- ・治療や副作用、これからの生活への不安、家族への伝え方などで悩んでいる

がんに関する情報の集め方

- ・情報が多すぎて、何を信じたらいいかわからない

医療費や生活費、福祉制度の手続き

- ・医療費や生活費、利用できる制度について相談したい

仕事や暮らし(介護・家事・育児)との両立

- ・仕事を続けたいけれど、家事や育児との両立に不安がある

セカンドオピニオンについて

- ・他の病院の先生の意見も聞いてみたいけど、どうすればいいの？

がん患者会(同じ病気を経験した仲間と話せる場)について

- ・同じ病気を経験した人の話を聞いてみたい



相談方法

対面面談

電話相談

オンライン相談

(※事前予約制／Zoomを使用します)

利用時間 月～金曜日 9:00～17:00
(土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始を除く)

費用 無料 ※オンライン相談の通信料は自己負担

連絡先 098-917-5238

場所 1階 患者相談窓口③番カウンター

よくあるご質問

Q 相談するには予約が必要ですか？

A 予約なしでもご相談いただけますが、事前予約の方を優先してご案内しています。待ち時間が気になる方は、できるだけ事前にご連絡ください。

Q 入院中でも相談できますか？

A はい。担当医師や看護師などの職員を通してご相談いただくことも可能です。

Q 治療方針について相談できますか？

A 当センターは診断や治療方針を決定する窓口ではありません。不安や悩みを整理し、患者さんやご家族と一緒に解決の糸口を探すお手伝いをしています。

Q 相談内容が他の人に知られることはありませんか？

A 相談内容の秘密は厳守しております。安心してご相談ください。

詳細は、当院ホームページにてご確認ください。



☆ キッズドクターのオンライン診療をご利用ください ☆

お子さまの体調不良、

まずは

オンライン診療

という選択を。



夜間や休日、お子さまが急に熱を出したとき、「今すぐ救急外来に行くべき？」と不安になったことはありませんか。

現在、小児救急外来では、比較的軽い症状で受診されるケースも少なくありません。

そのため、一刻を争う重症のお子さまへ迅速に対応できる救急医療体制を維持することが重要となっています。

そこで当院では、こども医療センターと小児救急医療に関する連携協定を締結し、スマートフォンから利用できる

オンライン診療サービス「キッズドクター」をご利用いただける体制を整えました。

「救急車を呼ぶほどではないけれど心配…」そんなときは、まずはご自宅からオンライン診療という選択肢をご活用ください。

こどものオンライン診療 キッズドクター

まずはアプリをダウンロード



キッズドクターなら



ご自宅から
受診可能



感染リスクを
軽減



お薬を薬局で
受け取り



保険証・小児医療証が
利用できます

こんな症状は輪番病院へ

- 生後3カ月以内の発熱
- 呼吸苦（ゼーゼーする等）がある
- 意識がおかしい、けいれんしている
- クリニック、オンライン診療、#8000からの紹介

注意事項

- 救急外来では、お薬の処方は原則1日分です。また、検査は医師の判断により実施します。
- 当院かかりつけの患者さんで、主治医から指定がある場合は、非輪番日でも対応します。



輪番担当曜日

MON 月

こども医療
センター

TUE 火

こども医療
センター

WED 水

那覇市立病院

THU 木

こども医療
センター

FRI 金

那覇市立病院

SAT 土

こども医療
センター

SUN 日

那覇市立病院

お子さまの安心と地域の小児救急医療を守るため、
オンライン診療のご活用にご理解とご協力をお願いいたします。

当院ホームページでも
ご覧いただけます。



未来の看護師になってみよう



2026年5月10日～16日の「看護週間」にあわせ、5月15日に「ふれあい看護体験」を開催し、松島中学校2・3年生8名が参加しました。生徒たちは看護師のユニフォームに着替え、手洗いやバイタルサイン測定の見学、車いす操作などを体験し、看護師の仕事や役割を学びました。また、栄養科の協力で病院食の試食も行い、患者さんの健康に合わせた食事や栄養管理の工夫を理解しました。今回の取り組みが地域とのつながりを育み、将来の医療職への関心につながることを期待しています。

看護師さんは患者さんが安心して過ごせるようにし、1人の患者さんに多くの人が協力して支えていることを知りました。私も将来、看護師さんのように人を思いやる気持ちを大切にしながら誰かの役に立ち支えられるような人になりたいと思いました。

病院食は、ご飯をかめない人用のご飯を体験で食べました。おかゆがゼリー状になっていて、魚はハンバーグのような見た目になっていました。とても柔らかくて不思議な味がしました。食事もとても工夫されていてすごいなと思いました。

看護の仕事だけでなく感染予防のため、正しいマスクの付け方や、手の洗い方では自分が洗い残しの多いところをブラックライトで確認することもできました。今回習ったことを日々の生活で生かしていきたいです。

これからやっていけそうなこともあれば、今回だからこその出来ない体験が出来て楽しかったです。ナース服も着れたので、1日本当に看護師になれたみたいで、とっても新鮮な体験が出来たので良かったです。

参加生徒さんの感想

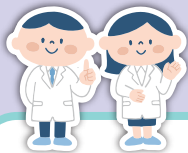
患者さんとの関わりを通して人と関わることの楽しさを感じるとともに、実際に働くことの雰囲気を知り、社会に出たような気持ちになり、社会勉強や社会での人との関わり方について学びました。

今回の体験で病院内に入ったり、病院食を実際に食べてみたりなど、良い体験をたくさんしてもらいました。これからの日常や自分の将来に生かしていきたいです。

私の一番印象に残っていることは、「カンファレンス」で1人の患者さんのことを医者はもちろん、栄養士さん、看護師さん、薬剤師さんなどいろいろな人が考えていて、とても大切な話し合いなんだと思いました。

今回の体験を通して学んだことは看護師さんが患者さんに対しての声かけでは、「笑顔」で接したりしていたことで笑顔で接することで患者さんも安心するのかなと思いました。前よりもっと看護師への興味がわきました。





登録医紹介

当院の連携登録医を紹介しています

当院は病診連携を一層推進するために登録医制を設けております。

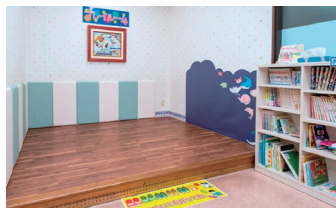
お問い合わせは地域医療連携室まで！

TEL.098-884-5134(直通) FAX.098-886-5502

まちなと小児クリニック

診療科目

- 小児科
- 予防接種
- アレルギー科
- アレルギー検査



受付時間／曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	／	／
14:00～18:00	○	○	○	○	○	／	／	／

休診日：土曜午後、日曜日、祝祭日

※WEB 診療受付時間は、午前診療 6:30～11:30、

午後診療は 11:30～17:30 までです。

※定員になり次第受付終了となります。



院長 新垣 義清

皆さん、はじめまして。院長の新垣 義清と申します。

当院は沖縄県浦添市に位置しており、地域のお子さんの診療を20年以上続けてまいりました。風邪や発熱などの治療から、お子さんのアレルギーのご相談まで、小児科全般に幅広く対応しております。小さなお子さんの予防接種についてのご相談も承っております。院内感染の予防には力を入れており、予防接種専用の部屋も設けておりますので、安心してお越しください。

また、当院は地域の総合病院との連携も密に行っているため、お子さんの症状によってはご紹介することも可能です。お子さんの症状で気になることがありましたら、些細なことでもかまいませんのでご相談ください。

住所／浦添市牧港2-46-12 メディカルプラザ4階

TEL.098-942-1110

アンディーノこども診療所

診療科目

- 一般小児科
- 予防接種
- 乳児健診
- 発達外来



受付時間／曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	○	○	○	／	○	○	／	／
13:30～14:30 (予防接種・乳児健診)	○	○	○	／	○	○	／	／
14:30～17:00	○	○	○	／	○	○※	／	／

休診日：木曜日、日曜日、祝祭日、慰霊の日、年末年始(12/29～1/3)

※土曜日は 16 時受付終了



院長 安藤 美恵

私の小児科医としての原点は、研修医時代に会った一人の男の子との経験にあります。幼少期の麻しんが原因で発症したSSPE(亜急性硬化性全脳炎)により、元気だった彼は次第に話すことも歩くこともできなくなりました。懸命に支えるご家族の姿を前に、医師として無力さと深い悲しみを痛感したことは、今も忘れることができません。この経験から、「ワクチンで防げる病気で、もう悲しい思いをする親子を見たくない」という思いが、私の医療の原点となりました。

また、コロナ禍を経て、こどもたちの“こころ”が受けた影響も決して小さくありません。当診療所は病気だけでなく、からだとこころの両面を支え、こどもたちの笑顔とご家族の安心を守る「こどもたちの味方」として、地域とともに歩んでまいります。

住所／那覇市国場1177-3 カテーラメディカルビル 1階

TEL.098-894-3725

利用者送迎車 敷地周辺シャトル運行のご案内

那覇市立病院では、下記乗降場所をシャトル運行する利用者送迎を行っています。乗降場所近くの警備員へお声かけの上、ご利用ください。運行時間は9:00～16:30（平日のみ）です。

乗降場所 ①新病院棟2階救急センター入口前駐車場 ↔ ②ゆいレール市立病院前駅舎下階段付近

② ゆいレール市立病院前駅舎下 階段付近



階段を降りてすぐ
警備員に**送迎希望**と
お伝えください



巡回送迎
乗降場所の
看板が目印です



① 新病院棟2階 救急センター入口前駐車場

こちらにお座りになって
お待ちいただけます

当院ホームページでも
ご覧いただけます。

